

外国人教員の一齐採用によるグローバル人材の育成の推進

外国人教員採用検討委員会委員長 中山 顕

静岡大学工学部および大学院工学研究科では、各専門分野の外国人教員5名を一齐に採用します。2014年度内の任用に間に合うように、世界の著名な専門雑誌や大学および研究機関に広く国際公募を呼び掛けます。まずは、書類審査で数名に絞り、面接と模擬授業による評価を経て最終選抜を行います。最初の3年間の研究費として、各教員当たり1000万円強を準備することで、優秀な人材の獲得に努めます。応募資格としては、外国籍の研究者で英語に堪能であること、准教授に相応しい研究業績があること、工学系人材に必要な英語教育に理解があることなどを挙げており、日本語能力は問いません。

今回の外国人教員の一齐採用は、文部科学省の教育改革プランに沿って静岡大学が重要目標に掲げている「グローバル人材の育成」を加速・推進するために講じられる策の一つであります。工学部では、既に学生の海外派遣プログラムや留学生の受け入れプログラムを実施しておりますが、これらをさらに充実させかつ全学的に拡大する必要があります。英語で開講される科目のみを履修し大学院を卒業できる留学生コースや海外でのインターンシップを必修とする日本人学生コースなどが新たに設置される予定です。今回新たに採用する外国人教員には、学部・大学院の教育・研究指導に加え、これらのグローバル教育プログラムにおいても活躍して頂きます。

海外でリーダーシップを発揮し活躍できるグローバル人材には、高い語学力（英語コミュニケーション能力）、高い国際的教養・対話能力（異文化に対する十分な理解と日本人としての高い素養）および高い専門性・実践力（健全な心身と高い専門性に裏付けられた実践力）が求められます。これらの条件を満たすグローバル人材の育成にあたっては、日本人学生と外国人教員や留学生とのコミュニケーションの機会を常態化すること、グローバル人間力の涵養を意識した専門教育をさらに充実させることなどが求められます。英語に堪能でかつ高い専門性と国際性を兼ね備えた外国人教員を一齐に採用することで、静岡大学におけるグローバル人材の育成プログラムは大きく推進することになるでしょう。